様式第３号

事務事業評価表（令和 3年度）

事業コード	716	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	駅施設のバリアフリー化の推進	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	駅構内バリアフリー施設等の整備・支援	②部課名	建設部・道路課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	■我孫子　■天王台　□湖北　□新木　□布佐　□全市
	⑤事業期間	令和 2年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.68 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	332,674 千円	当該(開始)年度	（当　初）332,718 千円　（うち人件費　6,052 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63403	重点プロジェクトへの位置づけ	重点３
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。		事業目的	東日本旅客鉄道(株)が実施する駅構内のバリアフリー化・安全対策を支援することで、駅を利用する多くの市民の利便性向上及び安全に繋がる。
(3)事業内容	内　容	○我孫子駅のバリアフリー化 ・令和２年１０月６日に締結した協定に基づき、全ホームエレベーター設置及びトイレ改修に関してJR東日本に支援を行う。 ○我孫子・天王台駅のホームドア設置支援 ・駅利用者の転落防止のため、東日本旅客鉄道（株）が整備するホームドアに関して、支援の方法を検討する。		当該年度執行計画	４月～３月　我孫子駅構内エレベーター工事 ４月～３月　我孫子・天王台駅のホームドア整備支援の検討
				当該年度活動結果指標	我孫子駅ラチ内エレベータ整備進捗率　単位：% 想定値 60 / 実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	我孫子駅ラチ内ＥＶ整備進捗率	直接	当該年度進捗率	%	30	60
令和 4年度	我孫子駅ラチ内ＥＶ整備進捗率	直接	当該年度進捗率	%		80
令和 5年度	我孫子駅ラチ内ＥＶ整備進捗率	直接	当該年度進捗率	%		100

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
我孫子駅構内のＥＶ設置については、市民の多くが求めるものであることから、自由通路整備計画と切り離し、ＪＲ東日本と協力し、先行して整備することを検討していく。また、我孫子駅・天王台駅のホームドアに関しては、整備後の効果を考慮し、支援を検討していく。	○有　●無

(8)施行事項

	令和 2年度		令和 3年度			令和 4年度		令和 5年度	
	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
実施内容 費　用			＊ 我孫子駅構内エレベーター等設備設置 （起債・県補助対象） （継続費　２年～５年） 設定金額560,000千円 （Ｒ２逓次繰越分126,666千円） （継続費２年目） ＊ 緩行線ホームドア整備支援検討	326,666		＊ 我孫子駅構内エレベーター等設備設置 （起債・県補助対象） （継続費　２年～５年） 設定金額560,000千円 ＊ 緩行線ホームドア整備支援検討	200,000	＊ 我孫子駅構内エレベーター等設備設置 （起債・県補助対象） （継続費　２年～５年） 設定金額560,000千円 ＊ 緩行線ホームドア整備支援	33,334 120,000
予算(決算)額	合　計	0	合　計	326,666		合　計	200,000	合　計	153,334
国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	53,332
起債	充当率 0 %	0	充当率 75 %	207,800		充当率 75 %	150,000	充当率 75 %	25,000
一般財源		0		118,866			50,000		75,002
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
換算人数(人)		0		0.68			0.68		0.68
正職員人件費		0		6,052			6,052		6,052
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)		0		332,718			206,052		159,386
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	0千円／＊＊		5,545.3千円／%						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子駅のラッチ内ＥＶ整備は、市民の多くが早期実現を望む事業であり、市としても市民生活向上のため、東日本旅客鉄道（株）に対して積極的な支援を行っていく必要がある。また、ホームドアについては、近年、ホームから線路への落下事故が増えていることを考慮し、整備主体であるJR東日本に支援を行っていく必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞ 国の指針により市の必要な支援が求められている。	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ JR東日本が法令に基づき実施する。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：30 目標値(b)(%)：60 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円)：332,718 事業費削減額(d)(千円)：△332,718 事業費削減率(%)：0 実施予定の対策：■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.01 単位：% 費用単位：10万円 計算方法：○①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ●②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向